

総務部防災安全課

1 非常備消防関係

(1) 消防団

ア 団員異動状況（令和4年3月31日現在）

| 分団数 | 団員数 | | | 定員 |
|------|-----|-----|------|------|
| | 入団 | 退団 | 現員 | |
| 28分団 | 29人 | 25人 | 527人 | 544人 |

イ 行事

随時 防火・防災予防広報（自治会、イベント等）

ウ 消防団員教育訓練

鳥取県消防学校入校によるもの

- a 4月17日～18日 基礎教育（第74期）
- b 5月8日～9日 消防操法指導科（第44期）
- c 8月21日 警防科（50期）
- d 9月11日 機関科（56期）
- e 2月5日 初級幹部科（第43期）
- f 12月4日・5日・12日 応急手当普及員養成講習
- g 2月12日・13日 応急手当指導員養成講習

エ 報酬及び費用弁償

（単位：円）

| 階級 区分 | 団長 | 副団長 | 分団長 | 副分団長 | 部長 | 班長 | 団員 |
|----------|--|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 報酬年額 | 82,500 | 69,000 | 50,500 | 45,500 | 37,000 | 37,000 | 36,500 |
| 機関員加算 | ポンプ自動車機関員報酬年額 13,300 可搬ポンプ機関員報酬年額 7,800 | | | | | | |
| 費用弁償 | 出場、訓練、警戒等 1回につき | | | | 2,800 | | |

オ 表彰等（主なもの）

| 表彰等の種類 | | 階級 | 氏名 |
|-----------|---------|------|------|
| 消防庁長官表彰 | 永年勤続功労章 | 分団長 | 田川文男 |
| | | 分団長 | 坂田浩一 |
| 日本消防協会長表彰 | 精績章 | 分団長 | 浅田正人 |
| | | 分団長 | 小西崇雄 |
| 日本消防協会長表彰 | 勤続章 | 副分団長 | 岩佐訓良 |
| | | 副分団長 | 木下成安 |
| | | 班長 | 長谷川明 |
| | | 団員 | 江原常夫 |

| 表彰等の種類 | | 階級 | 氏名 |
|------------|------|-------|------|
| 鳥取県知事表彰 | 功労章 | 副分団長 | 福景大基 |
| | | 副分団長 | 安田武司 |
| | | 副分団長 | 足立康彦 |
| | 功績章 | 分団長 | 長谷川俊 |
| | | 部長 | 和田 收 |
| | | 部長 | 松本哲司 |
| | | 部長 | 浜田浩孝 |
| | | 部長 | 宇根稔彦 |
| | | 部長 | 生田静雄 |
| | | 班長 | 田村光徳 |
| | | 班長 | 石川達也 |
| | | 班長 | 畠山利幸 |
| | | 班長 | 吹野彰規 |
| | | 班長 | 大谷 晃 |
| | | 班長 | 元関正樹 |
| 団員 | 柴田 武 | | |
| 鳥取県消防協会長表彰 | 功労章 | 副団長 | 谷田 稔 |
| | | 団員 | 大倉 啓 |
| | 功績章 | 部長 | 浦木 肇 |
| | | 部長 | 和田 收 |
| | | 部長 | 清水光男 |
| | | 部長 | 松本哲司 |
| | | 部長 | 田口雅章 |
| | | 部長 | 松本慎二 |
| | | 班長 | 潮 健一 |
| | | 班長 | 長谷川明 |
| | | 班長 | 椋田義仁 |
| | | 班長 | 片上信行 |
| | 勤続賞 | 部長 | 大谷英範 |
| | | 部長 | 松本慎二 |
| | | 班長 | 角 茂幸 |
| | | 班長 | 森高好行 |
| | | 班長 | 武部輝幸 |
| | | 班長 | 井上英俊 |
| | | 班長 | 西村卓哉 |
| 班長 | | 小早川達也 | |
| 鳥取県消防協会長表彰 | 勤続賞 | 団員 | 手島寛治 |
| | | 団員 | 河津吉晴 |
| | | 団員 | 阿部紀明 |
| 鳥取県消防協会長表彰 | 勤続賞 | 団員 | 酒井鉄男 |
| | | 団員 | 山根 滋 |
| | | 団員 | 山根 滋 |

(2) 消防施設関係

ア 消防水利施設整備

火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うため、上水道消火栓の増設、補修を行った。

(ア) 上水道消火栓増設

(イ) 上水道消火栓補修

イ 消防団施設等整備

米子市消防団成実分団車庫の建替えを行った。

ウ 消防車両等整備

米子市消防団に配備している消防ポンプ自動車のうち、老朽化の著しい車両について、新規購入し更新した。

(ア) 更新車両

米子市消防団和田分団及び淀江町第2分団に配備されている車両。

(イ) 規格(型式) CD-1型、A-2級

2 防災関係

(1) 県内統一土砂災害防災訓練

県と連携した土砂災害に係る情報伝達訓練を実施した。

ア 実施日 令和3年5月31日(月)

イ 実施場所 防災安全課

(2) 避難所運営要員研修

職員を対象とした避難所開設訓練及び運営訓練を実施した。

ア 実施日 令和3年8月23日(月)、24日(火)

イ 実施場所 明道公民館

(3) 防災ラジオ事業

令和2年度調達に係る防災ラジオ放送受信機の在庫により貸与事業を継続した。なお、令和3年9月28日より、電子申請による一般世帯、事業所及び自治会向けの有償貸与申込受付を開始した。また、戸別受信機が設置されていない指定避難所等に防災ラジオ放送受信機を配備した。

ア 防災ラジオ放送受信機の貸与状況

〈令和4年3月31日時点〉

| 区分 | 貸与先 | 貸与台数 |
|----|-----------------------|-------|
| 有償 | 一般世帯(優先的貸与) | 143 |
| | 一般世帯(一般貸与) | 1,088 |
| | 事業所及び自治会 | 231 |
| 無償 | 自治会(又は自主防災組織) | 414 |
| | 消防団 | 33 |
| | 公民館(戸別受信機未設置) | 20 |
| | 指定避難所等 | 108 |
| | 地区社会福祉協議会の代表者 | 29 |
| | 在宅福祉員の地区代表者 | 29 |
| | 経済的に困窮する視覚障がい者(1級・2級) | 128 |
| 合計 | | 2,223 |

(4) 自主防災組織の育成

地域住民が、それぞれの立場、役割に応じて、隣保共同の精神に基づき自主的な防災活動を行うための自主防災組織の育成に努めるとともに、令和3年度から自主防災連合組織に対する補助制度を設け連合組織の結成促進及び育成に努めた。

ア 自主防災組織等結成実績

| 団体 | 新規結成組織数 | 合計組織数 | 備考 |
|----------|---------|-------|-----------------------|
| 自主防災組織 | 0 | 344 | |
| 自主防災連合組織 | 3 | 10 | 新規結成地区 (大高、富益、福生東) |

イ 自主防災組織等補助金実績

| 団体 | 内容 | 申請実績 | 金額実績 (円) |
|----------|-------|------|-----------|
| 自主防災組織 | 活動助成 | 16件 | 152,000 |
| | 資機材整備 | 40件 | 1,263,000 |
| 自主防災連合組織 | 活動助成 | 3件 | 71,000 |
| | 資機材整備 | 4件 | 292,000 |

3 災害関係

(1) 7月7日大雨 (7月7日～9日)

米子市災害警戒本部 (7月7日) 米子市災害対策本部 (7月8日～9日)

高齢者避難開始、避難指示発令 (7月8日～9日)

自主避難所13か所 (7月7日) ⇒避難所13か所 (7月8日～9日)

(2) 7月12日大雨 (7月12日～13日)

米子市災害警戒本部 (7月12日、13日) 米子市災害対策本部 (7月12日)

高齢者等避難開始発令 (7月12日)

自主避難所13か所 (7月12日) ⇒避難所13か所 (7月12日)

(3) 台風第9号 (8月9日)

米子市災害警戒本部 (8月9日)

(4) 8月12日大雨 (8月12日～15日)

米子市災害警戒本部 (8月13日～15日)

(5) 8月17日大雨

米子市災害警戒本部 (8月17日～18日)

(6) 12月25日大雪 (12月25日～27日)

米子市災害警戒本部 (12月25日～27日)

4 防犯対策関係

(1) 米子市防犯協議会総会

令和3年5月24日、市役所本庁舎4階401会議室で開催した。

会 長 奥 田 登 (米子市自治連合会長)

副 会 長 新 見 博 士 (米子市自治連合会副会長)

〃 田 後 良 文 (米子市社会福祉協議会長)

〃 福 田 知 浩 (米子市学校校外指導連絡協議会長)

(2) 防犯灯設置費等補助金の交付

各自治会防犯灯の設置等について助成を行った。

| | | |
|-------------|------|------------|
| ア 新設 | 57基 | 1,276,194円 |
| イ 光源装置のLED化 | 236基 | 2,357,500円 |
| ウ 照明器具の取替 | 17基 | 117,500円 |
| エ 移設 | 3基 | 50,700円 |

(3) 防犯灯電灯料補助金の交付

各自治会防犯灯の電灯料について助成を行った。

5,653灯 7,094,954円

5 水難事故防止対策関係

(1) 米子市水難防止協議会総会

令和3年6月3日、市役所本庁舎4階401会議室で開催した。

会 長 伊 木 隆 司 (米子市長)

副 会 長 奥 田 登 (米子市自治連合会長)

(2) 広報用チラシ・ポスターの配布

ア 広報用チラシを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園に人数配布した。

イ 広報用ポスターを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園、公民館に掲示した。

6 米子市防災会議

米子市地域防災計画及び広域住民避難計画の修正について書面決議を行い、計画を見直した。

(1) 文書発送日 令和3年8月3日(火)(回答期限 8月17日(火))

7 原子力防災関係

(1) 防災訓練の実施

万が一島根原子力発電所において緊急事態が発生した場合に、住民避難を迅速かつ的確に実施し、住民の生命、身体等を保護する目的で、鳥取県、島根県、島根原発関係市及び関係機関と合同で、原子力発電所事故の通報を受けた後の初動対応訓練を実施した。

ア 避難退域時検査・県営避難所開設訓練

(ア) 開催日 令和3年8月21日(土)

(イ) 会場 中山農業者トレーニングセンター(大山町)

イ 大型ヘリ輸送訓練

(ア) 開催日 令和3年11月5日(金)

(イ) 会場 陸上自衛隊美保分屯地、鳥取砂丘コナン空港(鳥取市)

ウ 初動対応訓練

(ア) 開催日 令和4年2月2日(水)

(イ) 会場 市役所本庁舎第2応接室

(2) 原子力防災講演会の開催

ア 開催日 令和3年6月26日(土)

イ 会場 米子市立図書館2階 多目的研修室

ウ 講師 長崎大学原爆後障害医療研究所 教授・博士(医学) 高村 昇氏

(3) 米子市原子力発電所環境安全対策協議会の開催

島根原子力発電所の安全対策等を把握し、市民の安全及び健康の確保に資するため、各種の団体職員及び公募により選定した団体の構成員などで協議会を開催している。今年度は、協議会の開催に加え、協議会委員による島根原子力発電所の視察を行った。

ア 開催日 ①令和3年10月18日（月）

②令和4年2月15日（火）

イ 会場 ①島根原子力館、島根原子力発電所

②国際ファミリープラザ2階 ファミリーホール

(4) 鳥取県原子力安全対策合同会議の開催

今年度は、米子市原子力発電所環境安全対策協議会委員、境港市原子力発電所環境安全対策協議会委員及び鳥取県による合同会議のほか、鳥取県知事、米子市長及び境港市長の3者による合同会議を行った。

ア 開催日 ①令和3年11月8日（月）

②令和3年11月22日（月）

③令和4年2月16日（水）

イ 会場 ①米子コンベンションセンタービッグシップ 国際会議室

②米子コンベンションセンタービッグシップ1階 多目的ホール

③米子市役所3階 第2応接室